

蜂窩織炎の治療を受ける患者さんへ

患者氏名:

主治医:

受け持ち看護師:

項目 \ 月日	入院	1～2日目	3日目	4日目	5日目	6日目～退院まで
達成目標	• 身体の状態について理解することができる • 治療に関してわからないことや不安なことを医療者に相談することができる	• 発熱や疼痛の増強なく、過ごすことができる • 手術した部位の安静を保つことができる				• 手術した部位の安静を保つことができる • 異常を自覚した場合の対処法が言える • 退院に向けて創部の処置を自分、もしくは家族で行える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	• 抗生剤の点滴を行います。抗生剤に合わせて、整腸剤の内服をすることがあります。 • 傷がある場合は医師または看護師が処置(ガーゼの交換)を行います。 • お薬や軟膏は看護師にお渡しください • 傷が腫れて熱感がある場合はアイスノンで冷やします。	• 抗生剤の点滴は医師の指示があるまで行います。内服の抗生剤に変わることもあります。 • 傷がある場合は、医師または看護師が毎日処置(ガーゼの交換)を行います。 • 傷が腫れて熱感がある場合はアイスノンで冷やします。				
検査	• 採血、細菌検査など		• 採血(必要な場合)		• 採血(必要な場合)	
活動・安静度	• 傷の場所によって異なるため、医師・看護師にお聞きください。 • 足に傷がある場合は、安静のため車椅子を使用していただくことがあります。また、ベッド上で傷のある足をクッションや枕を使用して挙上していただくことがあります。					
食事	• 制限はありません。					
清潔	• 基本的に体拭きとなりますが、傷の場所によってはシャワー浴が可能です。スタッフにお聞きください。 • シャワー浴ができない場合は、看護師と一緒に体拭きを行います。状態に合わせて洗髪や足浴、手浴も行います。					
排泄	• 傷の場所や体の状態によっては、安静のために尿の管を入れる場合があります。					
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	• 医師の診察と本人・ご家族へ説明があります。 • 熱や痛みがある場合は看護師までお知らせください。鎮痛剤や解熱剤を投与します。 	• 熱や痛みがある場合は我慢せずに看護師までお知らせください。鎮痛剤や解熱剤を投与します。 • 点滴や安静上の制限がありますので、移動の際は必ずナースコールでお知らせください。 				• 医師より外来受診、治療予定について説明があります。 • 看護師より退院指導(創部の処置の方法、生活上の注意点など)があります。 • 退院時に必要なお薬は早めに医師や看護師にお伝えください。退院後の内服薬や軟膏は「退院時処方」となります。

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸処の理由で経過どおりにいかない場合もありますことをご了承ください。